

1 速度規制の見直しの考え方について

(1) 一般道路

前回のワーキンググループでは

- ・ 速度引き上げを実施した結果、大半の路線で実勢速度と規制速度の乖離が改善され、目立った交通事故の増加は見られなかったこと
- ・ 24万km以上の速度規制について見直しを進めるためには、優先順位を付けて効率的に実施する必要があること

について御確認頂きました。

そこで、今後も40km/h規制、50km/h規制を中心として、実勢速度と規制速度の乖離が大きい路線を優先的に見直しを進めて参りたいが、いかがでしょうか。

(2) 生活道路

生活道路については、面的な低速度の規制が重要であるとの御意見の一致が見られる一方で、日本では、ドライバーにとって生活道路とそれ以外の道路の区分が明確ではないとの御指摘がございました。

そこで今後とも、ドライバーに分かりやすい面的規制の推進を図って参りたいが、いかがでしょうか。

2 速度管理に関する考え方の国民との共有について

規制速度決定の基本的な考え方や、30キロ、50キロなどの規制速度の具体的な数値が持つ意味、死亡リスク等を国民に伝える必要があるとの御指摘を踏まえ、速度管理の必要性等について具体的に分かりやすく国民に啓発を図る対策を進めて参りたいが、いかがでしょうか。